

工学専攻

—学位授与・教育課程編成・入学者受入れの方針—

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位授与の前提となる教育理念】

工学専攻では、「複数の分野を自身の専門性から融合してイノベーションを行う人材の育成」という基本理念に基づいて、分野横断的な知識に基づいて融合と協創を行える工学系女性人材を育成します。具体的には、次の3つの能力「主体性」「専門性」「社会性」を身につけた人材を育成します。本専攻では、明確な問題意識に基づいて課題を設定し、その課題に主体的・積極的に取り組む意欲が求められます。

【身につけるべき力】

- ・「主体性」

課題発見やニーズ創出を行う際に必要となる主体的な学修態度を身につけ、分野横断的な知識に基づいて多様な課題に自ら取り組める能力

- ・「専門性」

サービスも含めた「ものづくり」において、課題の完遂に必要な専門知識と技術に基づく能力

- ・「社会性」

多様な専門家とチームで協働し、異分野間でも効果的なコミュニケーション能力

【学位授与の要件】

上述の資質・能力を身につけ、所定の年限以上在学し、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、学位論文審査に合格することを、学位授与の要件とします。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基本的なカリキュラム構造】

技術者としての倫理観や、研究開発に必要となる基礎を養成する科目群を「基礎群」とします。一方で、人間情報分野あるいは環境デザイン分野における専門知識や技術を修得し、課題の解決策を提案するとともに検証し、新たな技術を実現可能な形で提案する力を養成する科目群を「専門群」とします。また、異なる分野の知見を連携して活用する際に重要となる、チームで協働する能力や専門の異なる人に平易に説明する能力を企業との協創なども通じて涵養する科目群を「実践群」とします。さらに、修士課程での研究を通じて修士論文を執筆するための科目群を「論文等作成群」とします。

【教育内容と方法】

本専攻では、デバイスで計測した人間からの情報を処理して個人に適応したモノやサービスを創出する人間情報分野と、快適な住環境や社会環境を実現するための素材やデザインを創出する環境デザイン分野における、「専門知識」と「技術力」を身に付ける科目を用意しています。また、それぞれの専門性を探求することに加えて、異分野と連携しながら専門知識と技術を活用する際に必要となる「倫理観」と、チームで連携する際に必要となる「異分野の理解」への姿勢を身につける科目も用意しています。さらに、身に付けた専門性をチームで活用する「協創力」と、研究成果を社会に還元するための「波及力」を育むための科目も用意しています。なお、工学部からの6年一貫教育プログラムでは、学部から修士論文作成まで継続的に研究を行い質の高い修士論文を目指すとともに、留学など海外での研究を自ら柔軟に設計することが可能です。

【学修成果の評価】

開講科目は、シラバスにその成績評価の方法を明示します。学修成果の評価は、科目の特性に応じて、公正かつ的確に実施します。修士論文は、提出された論文に対する学位論文審査により評価します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

工学専攻では、人と自然が調和した豊かな社会を実現するために、高度な専門能力、ならびに異分野への理解力と高い倫理感を兼ね備えつつ、時代の流れに即した科学技術の発展に資する人材の育成を目指します。

【求める学生像】

上記の理念に基づき、工学専攻のディプロマ・ポリシーである「主体性、専門性、社会性」をそれぞれさらに細分化した学修成果を修得するためのカリキュラム・ポリシーに基づいて配置する科目を履修できる能力を備えた、次のような入学者を求めます。

- ・工学専攻が掲げる理念に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人
- ・専門分野において課題を設定、解決するのに必要な基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考力を有する人
- ・自分の専門分野のみにとらわれず、異分野の理解に努め、互いに協力して科学技術の発展に取り組む意欲に満ちた人
- ・自らが国際社会の一員であることの自覚を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。【求める学生像】では、「高度な専門能力」や「論理的思考力」を重視しているため、それに対応する形で全ての選抜方法において筆記試験と口述試験を実施し、基礎学力を評価します。また、多様な人材の受け入れる方針に沿い、一般選抜に加えて、社会人を対象とする特別選抜や、外国人留学生を対象とする特別選抜、6年一貫教育プログラム履修生を対象とする特別選抜を設けます。さ

らに、「国際社会の一員としての自覚」や「異分野への理解力」を求めるため、すべての選抜で英語力(TOEFL もしくは TOEIC)を評価し、外国人留学生特別選抜では日本語能力の確認も可能とします。

【一般選抜】

大学で修得しておくべき専門の基礎学力と大学院の専攻において学ぶ上で必要となる基礎学力を評価するための筆記試験と口述試験、ならびに英語(TOEFL もしくは TOEIC)を総合的に判断して合否を判定します。

【社会人特別選抜】

大学で修得しておくべき専門の基礎学力と大学院の専攻において学ぶ上で必要となる基礎学力を評価するための筆記試験と口述試験、ならびに英語(TOEFL もしくは TOEIC)を総合的に判断して合否を判定します。本選抜は大学卒業等の修士課程への出願資格取得後、2 年以上の社会経験（社会経験の内容は不問）を経た女子に限ります。

【外国人留学生特別選抜】

大学で修得しておくべき専門の基礎学力と大学院の専攻において学ぶ上で必要となる基礎学力を評価するための筆記試験と口述試験、英語(TOEFL もしくは TOEIC)、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合的に判断して合否を判定します。

【6年一貫特別選抜】

大学で修得しておくべき専門の基礎学力と大学院の専攻において学ぶ上で必要となる基礎学力を評価するための筆記試験と口述試験、英語(TOEFL もしくは TOEIC)、ならびに研究希望調書を総合的に判断して合否を判定します。